

■日程：2024年8月28日（水）～8月31日（土）

■ボランティア参加者数：19名

■サロン実施場所および被災者の参加者数

日時	サロン実施場所	被災者の参加者数
8月29日（木）	穴水町諸橋地区 諸橋仮設団地	6名
8月29日（木）	穴水町甲地区 兜公民館	24名
8月29日（木）	穴水町中居地区 住吉公民館	12名
8月29日（木）	輪島市町野地区 金蔵集会所	12名
8月30日（金）	穴水町志ヶ浦地区 志ヶ浦コミュニティセンター	21名
8月30日（金）	輪島市門前地区 禅の里交流館	48名
8月30日（金）	輪島市門前地区 皆月多目的集会所	37名
8月30日（金）	輪島市門前地区 浦上公民館	26名

■被災者の声（主なもの）

- ・仮設住宅に子供がいる世帯が住んでいて、子供の声がたくさん聞こえる。子供の声は元気が出る。
- ・自動車を持ってないと自由に出掛けることが難しい。年齢的に自転車に乗るのも厳しくなってきた。
- ・毎年帰省してくる孫が地震のトラウマで泊まらずに日帰りするようになってしまった。
- ・耳が遠くて補聴器が欲しいけど、足が悪くて補聴器を作るために病院に行くのも大変なんだ。
- ・昔は中居茶を作ってた、手摘みや手もみをしていたのよ。
- ・仮設住宅は狭くて息が詰まるので日中は半壊の自宅で過ごし、風呂と就寝は仮設住宅で過ごしている。
- ・地震は本当に揺れたら、テーブルの下にもぐるなんてとても出来ないし、近くの物にしがみつくなのやっとな。収まるまで待つしかないよ。これだけはあんなたちに伝えたいと思っていたんだよ。
- ・今日も震度3の地震があったので怖い。ヘルメットをそばに置いている。
- ・台風が近づいているけど仮設住宅は大丈夫だろうか。
- ・家庭菜園で育てたサツマイモが美味しい。でも猪が荒らしに来るので、来年以降は畑を続けられないかも。
- ・ここは自然がとても綺麗なのよ。海が青くて、紅葉も綺麗、牡蠣が名産だけど生産量が少ないから、よそにはあまり出回らないの。
- ・若いボランティアがスマートフォンのゲームを教えてくれて嬉しかった。
- ・公費解体の手続きが面倒だし時間がかかるので自費で解体した。

■ボランティアの所感（主なもの）

- ・「東京からわざわざ来てくれてありがとう」と言われ、逆に励まされた。地元の方々から感謝の言葉をいただけるのは、ボランティアが繋いで回数を積み重ねてきたからだ実感した。
- ・今後のサロン活動の展開に興味をもっている方が多かった。若者もどんどん活発に参加してくれると、サロンが自立していくきっかけになるのではないかな。

